

メイトルのつばやき No.8



《 過ぎ越しの祭り 》

こんにちは！

みなさん、お元気ですか？5月はとても暖かく、そして晴天の日々が続くので気持ちがいいですね。この時季、私の国イスラエルでも暖かく空は晴れています。温度は約25度です。いい気持ちですね。イスラエル人はイスラエルのあちこちをよく旅行します。いろいろな場所で美しい花々を見るのです。

今回は、ユダヤ教の一番大事なお祭りについて紹介させていただきます。毎年4月にお祝いする祭りです。それは農耕と牧畜に起源をもつ歴史的な祭りです。



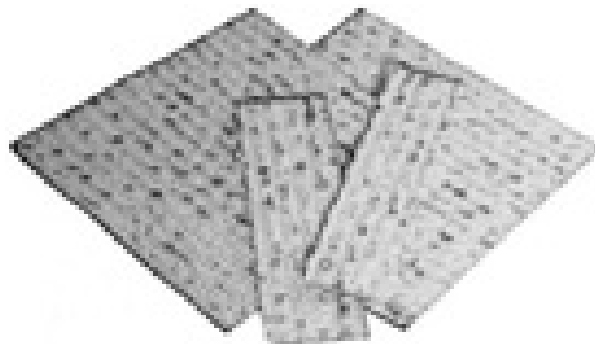
これは「過ぎ越し」、または「ペサハ」というお祭りです。

「ペサハ」とは聖書に記載されているユダヤ教の祭りです。そして、ユダヤ人の歴史に由来した最も古い伝統を誇る祭りです。昔々、ユダヤ人はエジプトに避難しました。それから長い間、奴隷として虐げられていました。神様はモーセをユダヤ人の指導者に任命してイスラエルの地へと帰還させようとしてしました。しかし、エジプトの王様がこれを妨害しようとしてしました。そこで神様は、エジプトに対して十の災いを被むらせたのです。その十番目の災いは、人間から家畜に至るまで、エジプトの「すべての初子を撃つ」というものでした。神様が、エジプトにその災いを下そうとした時、ユダヤ人の戸口を赤印に塗りました。その赤印のおかげで、イスラエルの人々の家は、神様が「過ぎ越して」いました。そのため、ユダヤ人の初子が救われました。ヘブライ語で「ペサハ」の意味は「過ぎ越す」です。エジプトに住んだユダヤ人たちがモーセに率いられてエジプトから逃亡しました。そのため、ペサハという祭りのもう一つの名前は「自由の祭り」と言われています。つまり、ユダヤ人は奴隷という立場から解放されたのです。

ペサハの祭りの特徴は、家族でお祝する祭日だという点です。初日の夕方、家族全員が集い、独特の食事をします。そして決まった式を行ない、祈ったり歌ったりして楽しく過ごします。特別な本を通じて出エジプト「あるいは、脱エジプト」の物語を大

きな声で話します。この日は家族以外の友人や大切なお客さんを招待するのがしきたりです。来客を迎えるのは家族にとっても喜びです。子どもたちも一緒に参加する「過ぎ越し祭り」を通じて、ユダヤ人は彼らの民族の歴史と信仰を連綿と伝えてきました。ですので、ユダヤ人は幼い時から、出エジプトの物語を覚えてしまいます。

「ペサハ」の祭りの時は、ユダヤ人はパンを食べることができません。粉から作るものを食べることができないのです。エジプトから脱出する時、イスラエルの人々はとても急ぎました。その時、パンを作



っていた人々はイーストを入れる時間が全くなかったため、イーストなしのパンができあがったのです。「イーストなしパン」あるいは「パン種なし」と呼ばれ、ヘブライ語で「マツォット」と呼ばれています。マツォットから様々な美味しい料理を作ることができるので私はマツォットが大好きです。特にフライマツォットが好きです。上に砂糖をかけて食べるのです。その甘い匂いは私の食欲をそそります。

ペサハはかなり長い祭りで、今年は4月19日から4月26日まで祝いました。最初と最後の日は休日です。そして、その間の5日間は教育機関がお休みになります。お店などは開店時間を平日と同じにします。子供たちの休みはさらに長く約二週間です。そのため、子どもたちはペサハという祭りが特に大好きです。休みの間、友達と遊び、家族と一緒に旅行します。そして学校の勉強のことを少し忘れることができるのです…。

メイトルさんへの質問は
meital@town.yaotsu.lg.jp
 までどうぞ！